2019
JAHFA
JAPAN AUTOMOTIVE HALL OF FAME
論壇
Contribution to JAHFA

DNGAで お客様に寄り添った クルマづくりを推進

ダイハツ工業株式会社
代表取締役社長
奥平　総一郎

はじめに

ダイハツ工業は創立110周年を迎えた2017年に、グループスローガン「Light you up ～らしく、ともに、軽やかに～」を策定いたしました。お客様一人ひとりを照らし、きめ細やかな商品やサービスを実現することで、輝いたライフスタイルをご提供する。そして、暮らしや環境への負担が少ないスモールカーで軽やかな気持ちをご提供する。これら「Light you up」の考え方を指針に、中長期経営シナリオ「D-challenge2025」のもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪で、ダイハツブランドの進化を目指しております。

ダイハツの「モノづくり」

「モノづくり」においては、ダイハツの新世代のクルマづくりである、「DNGA（Daihatsu New Global Architecture）」の実現に取り組んでまいりましたが、今年７月に、その第１弾となる軽乗用車、新型「タント」を発売いたしました。DNGAは、ダイハツのフィールドである、日本・新興国における軽自動車・コンパクトカーの次世代スタンダードを目指す取り組みです。DNGAにおける技術開発においては、自動車業界が100年に一度の大変革期を迎える中、CASEへの対応と、スピーディな商品ラインナップ拡充を同時に実現するために、「一括企画開発」を取り入れ、パワートレーンを含むすべてのプラットフォーム構成要素を同時に刷新いたしました。新プラットフォームにおいては、クルマの足となるサスペンションから開発に着手し、安定性と乗り心地を最優先にしたサスペンションジオメトリを新設計しました。パワートレーンにおいては、世界初となるスプリットギヤを用いた新CVT「D-CVT」を開発し、伝達効率を高めたことで、よりスムーズでパワフルな加速を実現しました。

ダイハツは今後、すべての新型車にDNGAの技術を採用することで、お客様に３つの価値「良品廉価」「最小単位を極める」「先進技術をみんなのものに」をご提供し、お客様の暮らし・社会を豊かに、元気にしてまいりたいと考えております。

DNGA第１弾　新型「タント」

DNGA第１弾となる新型「タント」は、現在軽乗用市場における最量販カテゴリーである「スーパーハイト」市場を創出した「タント」の４代目モデルです。「すべてのお客様に向けた『新時代のライフパートナー』」をキーワードに、DNGAに基づき、プラットフォーム、パワートレーン、シャシ、シートなどを刷新。「タント」ならではの広い室内空間を存分に生かす各種

Light you upを指針にダイハツブランドの進化を目指す

DNGA第1弾商品である軽乗用車　新型「タント」

DNGAによる新プラットフォーム

産学共同研究で開発した「グリップ」「オートステップ」「回転シート」

装備を採用し、子育てファミリーからご高齢の方まで、すべてのお客様が安心して快適にご使用いただける一台になったと考えております。また、「先進技術をみんなのものに」を目指し、予防安全技術「スマートアシスト」を大幅に進化させ、アダプティブ オートクルーズ コントロールや駐車支援システムなど、運転をサポートする新機能も多く搭載いたしました。さらに、これら多くの新装備や新技術を採用しながら、軽自動車らしい価格帯は維持しており、これまで以上に多くのお客様にご愛用いただけることと期待しております。

産学共同研究の取り組み
（「モノづくり」と「コトづくり」の連携）

「コトづくり」においては、「お客様や地域の方々との接点拡大」を主眼とした活動を推進しております。その一環として、2016年からご高齢の方々の事故低減に向けた産官学民の取り組みである、地域密着プロジェクト「健康安全運転講座」を開始しました。これは、高齢化が進む地域社会で、「産＝ダイハツ／JAF、官＝地方自治体、学＝理学療法士協会、民＝地域社会」の連携により、「いくつになっても自由に移動できる自立した生活」を地域と連携してサポートする活動です。これまでの累計参加人数は1,800人を超え、全国規模の取り組みへと成長しております。

さらに、新型「タント」においては、「モノづくり」と「コトづくり」が連携し、今後の高齢化進展に伴い増加が見込まれる、ご高齢の方や軽度の要介護者／要支援者に向けた新装備として「乗降グリップ」「オートステップ」「回転シート」を開発しました。地方部ではクルマでの移動が生活に欠かせないものですが、乗り降りの際、ご家族のサポートを借りることに抵抗のあるご高齢の方も多いと聞きます。そこで、「健康安全運転講座」で培ってきた繋がりを生かした、理学療法士の方々や大学教授との連携による「産学共同研究」にて、地域のご高齢の方々にご協力いただきながら、「本当に使いやすい装備とは何か」を追求し開発を進めてまいりました。さらに、産学共同研究において、運動機能の低下したご高齢の方の乗降動作を専門的に解析したところ、グリップやステップをご使用いただいた場合は、乗降の際のお体のご負担を軽減することができることがわかりました。ご高齢の方々がより安心してクルマでの外出を楽しんでいただくことで、自立支援を促し、介護予防にもつながると考えております。

最後に

今後も「Light you up」の考えのもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪でダイハツブランドを進化させ、お客様に寄り添ったクルマづくりを続けていくことで、「お客様に最も近いブランド」に成長させてまいります。